

子どもの貧困対策 全国47都道府県キャラバン in 奈良 報告書



2018年7月28日(土)、子どもの貧困対策全国47都道府県キャラバン in 奈良(以下、全国キャラバン in 奈良)をエルトピア奈良で開催しました。第1部66人、第2部44人、合計72の方がお越しくださいました。

第1部では小河光治・代表理事の挨拶と趣旨説明に続いて、共催者を代表し橋本安弘・奈良県こども・女性局長よりご挨拶をいただきました。行政・支援者からの報告として、梅野正和・奈良県こども家庭課家庭福祉係長より県内の子どもの貧困対策の取り組みについて、また岡本晴子・奈良県社会福祉協議会住民福祉活動振興係長より、「奈良県子ども食堂ネットワーク」の活動についてそれぞれご報告をいただきました。

その後、奈良県立法隆寺国際高等学校 放送局の卒業生のみなさんより、子ども食堂を題材としたラジオドキュメントを発表していただきました。自身もひとり親家庭で育ったという放送局員の生徒の目から見た、取材先の子ども食堂の温かい雰囲気や、地域の「横のつながり」が困りごとを抱える子どもたちの助けになるという、高校生ならではの率直な意見が収録されていました。その後、卒業生のひとりから「ドキュメントに出てきた、母子家庭で育った生徒とは私のこと。中学3年の時に母が倒れ、誰にも頼れない中で、助けてくれることもない周りの大人に不信感を持っていた。子ども食堂に来る前の子どもたちが、大人に対して抱く不信感にとっても共感できる。地域のつながりの中で守られていくためにも、子ども食堂は大切な場所だと感じている」と語ってくれました。



パネルディスカッション「それぞれの立場から考える、奈良の子どもたちの困りごと」には、岡本輝起・おてらおやつクラブチャレンジ1期生、黒飛啓志・宙塾理事長、松舟晃子・児童支援グループわたげ理事長が登壇。渡剛・あつとすくーる理事長がコーディネーターを務めました。当事者に近い若者、学習支援、社会的養護と様々な立場からそれぞれの取り組みを紹介。その後、ラジオドキュメントの内容も踏まえて、地域のつながりの薄さから生じる家庭や子どもたちの困りごとについて議論しました。特に

子どもの学習面に焦点を当て、家庭の状況が十分でないために落ち着いて学習できる環境が整っていないこと、そのような環境で育ってきた子どもたちに、将来のために学習することが必要であると伝えることの難しさについて、事例も交えながらお話いただきました。

第2部は、キャラバンの全体司会を務める田中涼太・あすのば子どもサポーター（阪南大学1年生）と、奈良市内の子ども食堂にボランティアとして携わる高校生のトークセッションからスタート。子どもと関わる活動の中で抱える悩みなどについて語り合いました。その後、2人から参加者へ「子どもと接する中で感じる悩みや、活動を続けていくうえでの困りごとを今ここにいるみなさんで共有し、一緒に考えたい」と投げかけ、参加者は各自の思いを用紙に書き出していました。



用紙の回収後、プログラムは参加者によるリレートークに移ります。児童福祉施設の行事の際にケーキを届けているというパティシエの方や、自立援助ホームのホーム長など、様々な立場の方から取り組みについてのご報告や、子どもたちへの思いについてお話をいただきました。



その後、参加者があげた思いや困りごとなどを6つのテーマに分類し、意見交換を行いました。「必要としている子どもに、どのように支援を届けるのか」「『おとな』とはどのような存在か」などについて各グループ活発に話し合いを行い、全体共有を行いました。

第2部には森田浩司・奈良県三宅町長も駆けつけてくださり、リレートークやその後のグループディスカッションにもご参加いただきました。

参加者からは、「地域で子どもを見守ろうとする方々が、リレートークでつながって意見交換されたことは有意義だったと思う」、「支援者の方々の生の声、そして当事者の若者の体験を聞くことができ、新しい視点を取り入れることができました」「（登壇者の）成功体験の話だけではなく、悩みながら進んでいる姿を見ることができて大変興味深かった」などの感想が寄せられました。

今回の全国キャラバン in 奈良は、地域支援センター、地域防衛軍COKAのみなさまにご協力いただき、子どもの貧困対策に携わる方々、団体のご協力により開催することができました。後援・助成いただきましたみなさま、ご参加いただきましたみなさまに心より御礼申し上げます。

【子どもの貧困対策 全国47都道府県キャラバン in 奈良】

日時：2017年7月28日（土）

場所：エルトピア奈良 大会議室A・B

主催：公益財団法人あすのば

共催：奈良県

後援：内閣府、奈良県教育委員会、奈良市、生駒市、王寺町、上牧町、田原本町、天理市、三宅町、大和高田市、奈良県社会福祉協議会、奈良県生活協同組合連合会

協力：地域支援センター、地域防衛軍COKA

助成：公益財団法人キリン福祉財団

参加者：第1部66人 第2部44人 合計72人（延べ110人）